（様式2）新規評価シート

建設部　　砂防課

事業名	急傾斜地崩壊対策事業			路河川名等	踏入
事業毎の通番	3	市町村名	上田市	箇所名（ふりがな）	踏入（ふみいり）

事業概要

事業目的	当該斜面は千曲川により形成された段丘崖で、最大斜面高25mで44度（最大）という急傾斜地を形成している。斜面保全対象区域にはアパートやマンションを含む人家23戸、クリニック、市道等があり、斜面崩壊による被害の恐れがあるため、急傾斜地崩壊対策工により土砂災害の防止を図り保全対象の安全確保を図るものである。
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1　県土の強靭化（災害に強いインフラ整備）
事業実施の根拠法令等	急傾斜地法
関連する事業、計画等	
保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家23戸、要配慮者利用施設（田中クリニック）、市道（小岩門12号線、常田池7号線、常田池10号線）

着手年度	平成30年度	事業期間	4年間	事業費（千円）	財源内訳（千円）			
完成年度（見込み）	平成33年度	費用対効果	7.1		国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容（主な工種）	連続繊維補強土工　L=180m　A=6,000m2			200,000	90,000	20,000	81,000	9,000

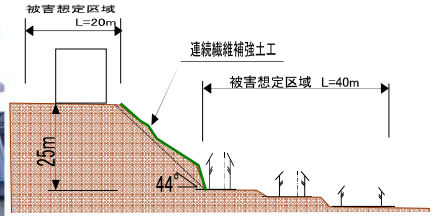
事業効果	
直接的効果（定量的・定性的）	・要配慮者利用施設の保全 ・特別警戒区域の解除
間接的効果（定量的・定性的）	

評価の視点

		評価
必要性	○【保全対象】人家戸数：23戸 ○【保全対象】公共施設：有り　市道（小岩門12号線、常田池7号線、常田池10号線） ○【保全対象】要配慮者利用施設：クリニック ○【保全対象】避難所、避難経路の有無：無	A
重要性	○【災害履歴】過去の災害履歴：有 ○【交通影響】交通遮断による地域経済への影響：影響度中 ○【位置付け】地域防災計画上の位置づけ：有　長野県及び上田市の地域防災計画	A
効率性	○【費用対効果】費用便益比（B／C）：7.05 ○【早期効果発現】事業期間：4年間（H30 ～H33） ○【工法等比較検討】工法等の比較検討：検討有	A
緊急性	○【斜面高さ】斜面の高さ：30m未満【Hmax25m】　○【斜面植生】植生：不良 ○【斜面勾配】斜面の平均勾配：30°以上40°未満【34.4°】　○【位置関係】保全対象：がけ上、がけ下に ○【斜面地質】地質：段丘堆積物 ○【斜面形状】オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形：なし	B
計画熟度	○【情報共有】事業情報の共有：関係者以外にも周知 ○【地域要望】地域の取り組み：協力的である ○【地域合意】地域の合意形成：合意形成が図られている ○【住民参加】斜面の維持（草刈りや枝落とし）を地域住民が実施している	A

所管課意見	要配慮者利用施設が警戒区域内にあり、事業の必要性及び重要性が高い。あわせて地元からの要望もあり、早期の事業着手が望まれる。	採択状況	総合評価
		○	A
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。		

事業概要説明図表



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該斜面は千曲川により形成された段丘崖で、最大斜面高25mで44度（最大）という急傾斜地を形成している。斜面保全対象区域にはアパートやマンションを含む人家23戸、クリニック、市道等がある。平成27年6月22日には豪雨の影響により倒木が発生し、家屋が被害を受けている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地域住民から要望あり。平成28年度中にアンケートを実施し、合意形成を図った。
③事業説明等の経緯	地元自治会、地権者、保全対象者、上田市都市計画課、土地改良課に事業内容について説明済み。 事業用地の寄付について、地権者から概ね承諾を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	グリーンベルト事業（上田市）
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画（工法検討の結果、連続繊維補強土工を採用する予定）。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により急傾斜地崩壊対策が図られ、災害に強い地域づくりが推進される。
⑦その他	H21年3月　土砂災害防止法指定。

事業代表地点の緯度経度	北緯：N 36° 23′ 22.4″
	東経：E 138° 16′ 17.3″